

津地域南が丘地区 地震防災マップ

01-17



- 【凡例】**
- 急傾斜地崩壊危険箇所
 - 緊急輸送道路
 - 避難所
 - 一時避難場所（地震災害）

● 防災行政機関

名称	電話
津市役所	229-3104
津警察署	213-0110
中消防署中署	226-2580
中消防署西分署	225-7431
中消防署南分署	234-3512
北消防署北署	232-3092

● 救急告示医療機関

名称	電話	名称	電話
医療法人 吉田クリニック	232-3001	近江行政法人 近江総合センター	259-1211
岩崎病院	232-2216	神原温泉病院	252-1111
国立大学法人 三重大学医学部附属病院	232-1111	白山地域	
武内病院	226-1111	三重要立一志病院	262-0900
大門病院	226-5525		
医療法人 永井病院	228-5181		
連山病院	227-6171		
津生協病院	225-2848		
若葉病院	227-0207		

● 避難所一覧（地震災害・風水害）

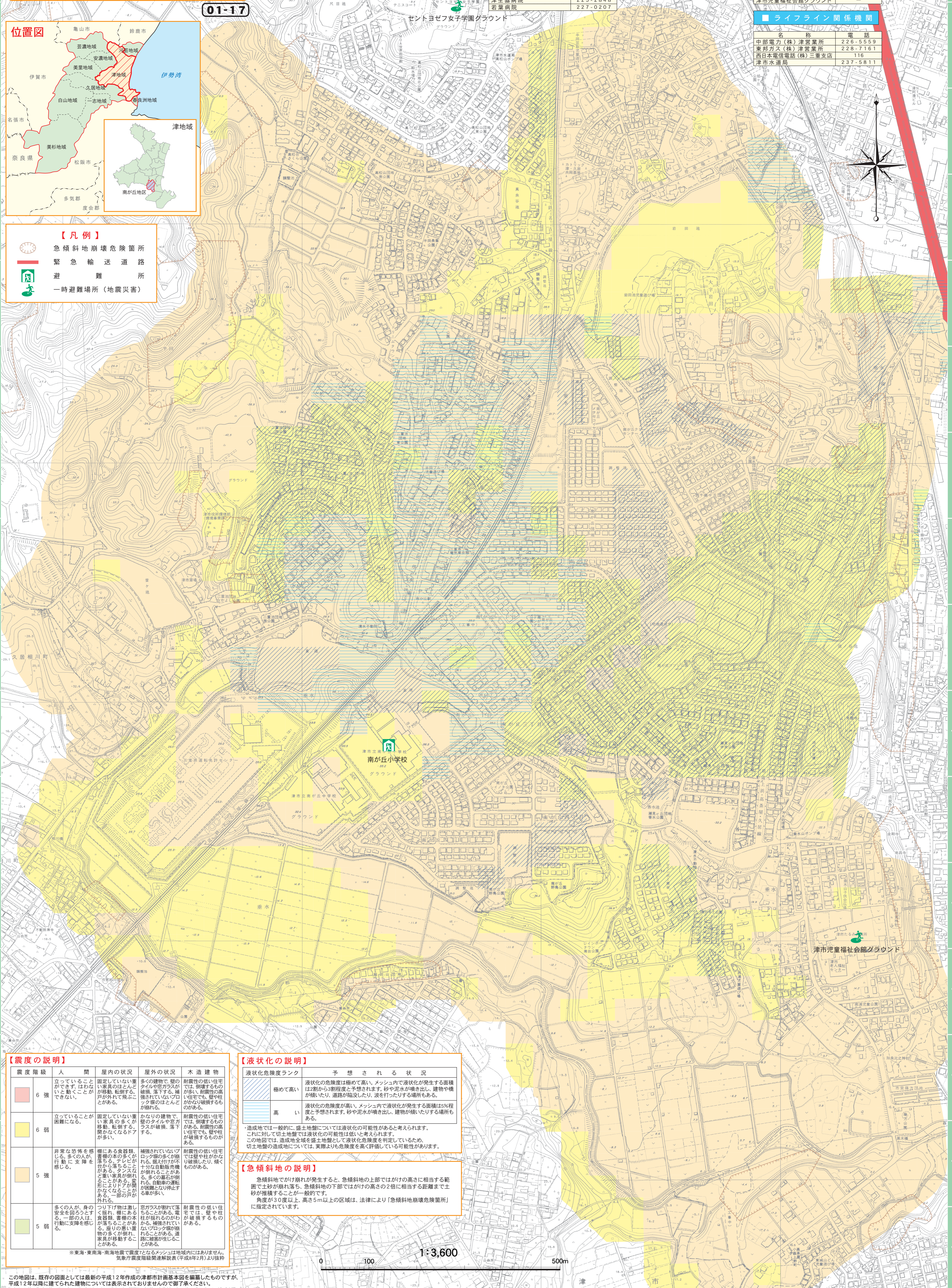
名称	電話
南が丘小学校	229-2761

● 一時避難場所一覧（地震災害）

名称	電話
セントヨゼフ女子学園グラウンド	227-6465
津市児童福祉会館グラウンド	

● ライフライン関係機関

名称	電話
中部電力(株)津営業所	226-5559
東邦ガス(株)津営業所	228-7161
西日本電信電話(株)三重支店	118
津市水道局	237-5811



【震度の説明】

震度階級	人間	屋内の状況	屋外の状況	木造建物
6 強	立っていることが困難になる。	固定していない重たい家具が倒れる。天井の照明器具が落下する。天井の照明器具が落下する。	多くの建物の壁のタイルや窓ガラスが破損する。壁や柱が傾いたり、倒れることがある。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が傾いたり、倒れることがある。
6 弱	立っていることが困難になる。	固定していない重たい家具が倒れる。天井の照明器具が落下する。天井の照明器具が落下する。	多くの建物の壁のタイルや窓ガラスが破損する。壁や柱が傾いたり、倒れることがある。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が傾いたり、倒れることがある。
5 強	非常に恐怖を感じる。多くの人が行動に支障を感じる。	固定していない重たい家具が倒れる。天井の照明器具が落下する。天井の照明器具が落下する。	多くの建物の壁のタイルや窓ガラスが破損する。壁や柱が傾いたり、倒れることがある。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が傾いたり、倒れることがある。
5 弱	多くの人が、身の安全を感じる。一部の人は、行動に支障を感じる。	固定していない重たい家具が倒れる。天井の照明器具が落下する。天井の照明器具が落下する。	多くの建物の壁のタイルや窓ガラスが破損する。壁や柱が傾いたり、倒れることがある。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が傾いたり、倒れることがある。

【液状化の説明】

液状化危険度ランク	予想される状況
極めて高い	液状化の危険度は極めて高い。メッシュ内で液状化が発生する面積は2割から3割程度と予想されます。砂や泥水が噴き出し、建物や橋が傾いたり、道路が陥没したり、波を打ったりする場所もある。
高い	液状化の危険度が高い。メッシュ内で液状化が発生する面積は5%程度と予想されます。砂や泥水が噴き出し、建物や橋が傾いたりする場所もある。

造成地では一般的に、盛土地盤については液状化の可能性があると考えられます。これに対して切土地盤では液状化の可能性は低いと考えられます。この地図では、造成地全域を盛土地盤として液状化危険度を判定しているため、切土地盤の造成地については、実際よりも危険度を高く評価している可能性があります。

【急傾斜地の説明】

急傾斜地でけがれが発生すると、急傾斜地の上部ではけがれの高さに相当する範囲で土砂が崩れ落ち、急傾斜地の下部ではけがれの高さの2倍に相当する距離まで土砂が堆積することが一般的です。

角度が30度以上、高さ5m以上の区域は、法律により「急傾斜地崩壊危険箇所」に指定されています。

この地図は、既存の図面としては最新の平成12年作成の津都市計画基本図を編集したものです。平成12年以降に建てられた建物については表示されておりませんがご了承ください。

